

道路事業の再評価資料

〔国道159号 七尾バイパス〕

平成24年10月

北陸地方整備局

目 次

1. 事業の概要	1
1) 事業の目的	1
2) 事業の概要	2
2. 現在に至る経緯等	3
1) 事業の経緯	3
2) 事業の進捗状況	3
3) 今後の事業展開	3
3. 当該道路の役割・効果	4
1) 3 便益に係る整備効果	6
① 走行時間の短縮	6
② 渋滞損失時間の減少	7
③ 交通事故件数の減少	8
2) その他の効果	9
① 大規模道路事業との連携	9
② 日常生活圏中心都市へのアクセス向上	10
③ 重要港湾七尾港からの物流円滑化	11
④ 主要な観光地へのアクセス向上	12
⑤ 第三次救急医療施設へのアクセス向上	13
⑥ 緊急輸送道路の強化	14
⑦ 地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援	15
4. 費用対効果	16
5. 対応方針（原案）	17
客観的評価指標抽出資料	18
費用対効果算出資料	22

1. 事業の概要

1) 事業の目的

当事業は、

- 交通混雑の解消、交通事故の低減
- 能越自動車道七尾氷見道路へのアクセス向上 など

を目的として、国道159号の七尾市川原町^{ななおしかわらまち}～下町^{しもまち}（ $L=4.3\text{km}$ ）についてバイパス整備及び現道拡幅整備を行うものである。現在、古府町^{ふるこまち}～下町間（ $L=3.2\text{km}$ ）の暫定2車線供用に向けて事業を実施中である。

【広域位置図】

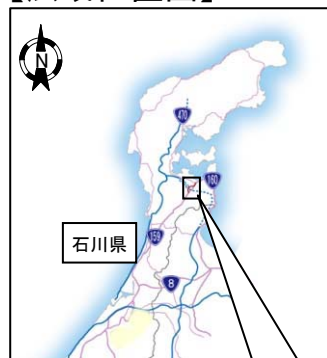
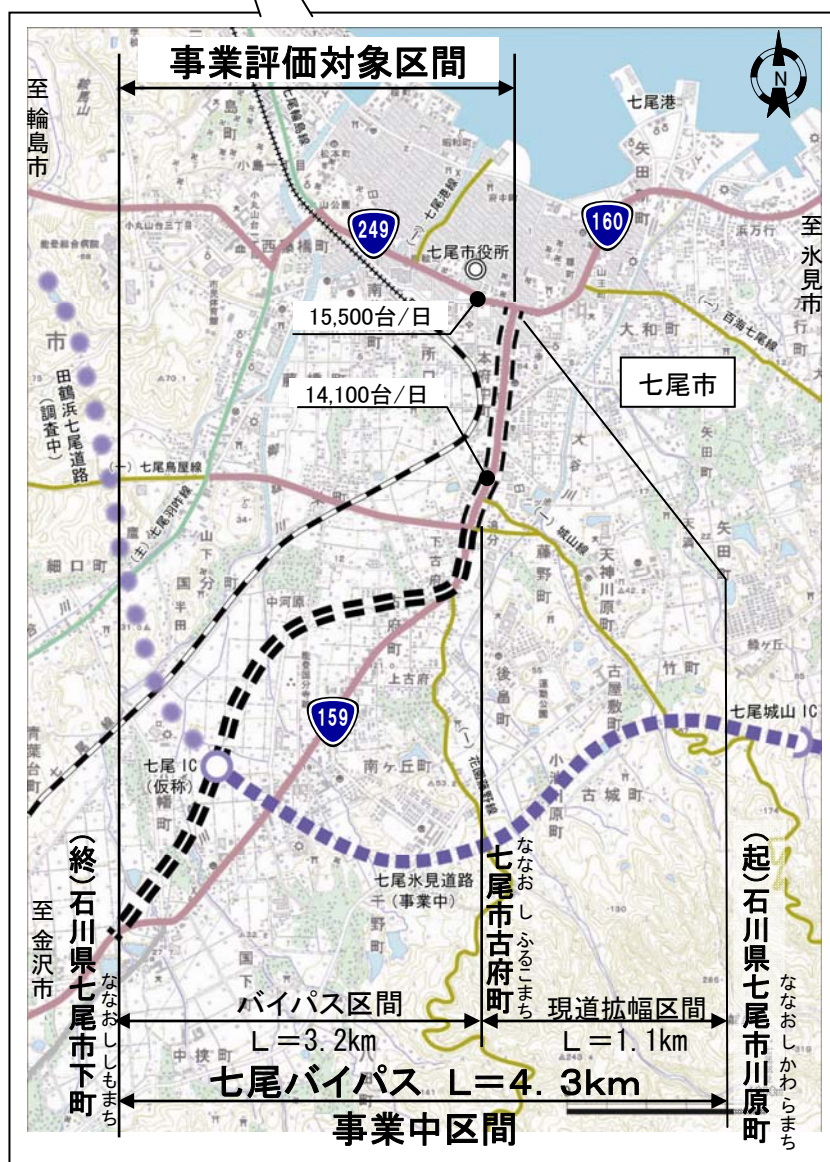


写真: 七尾市古府地内より七尾市街地を望む

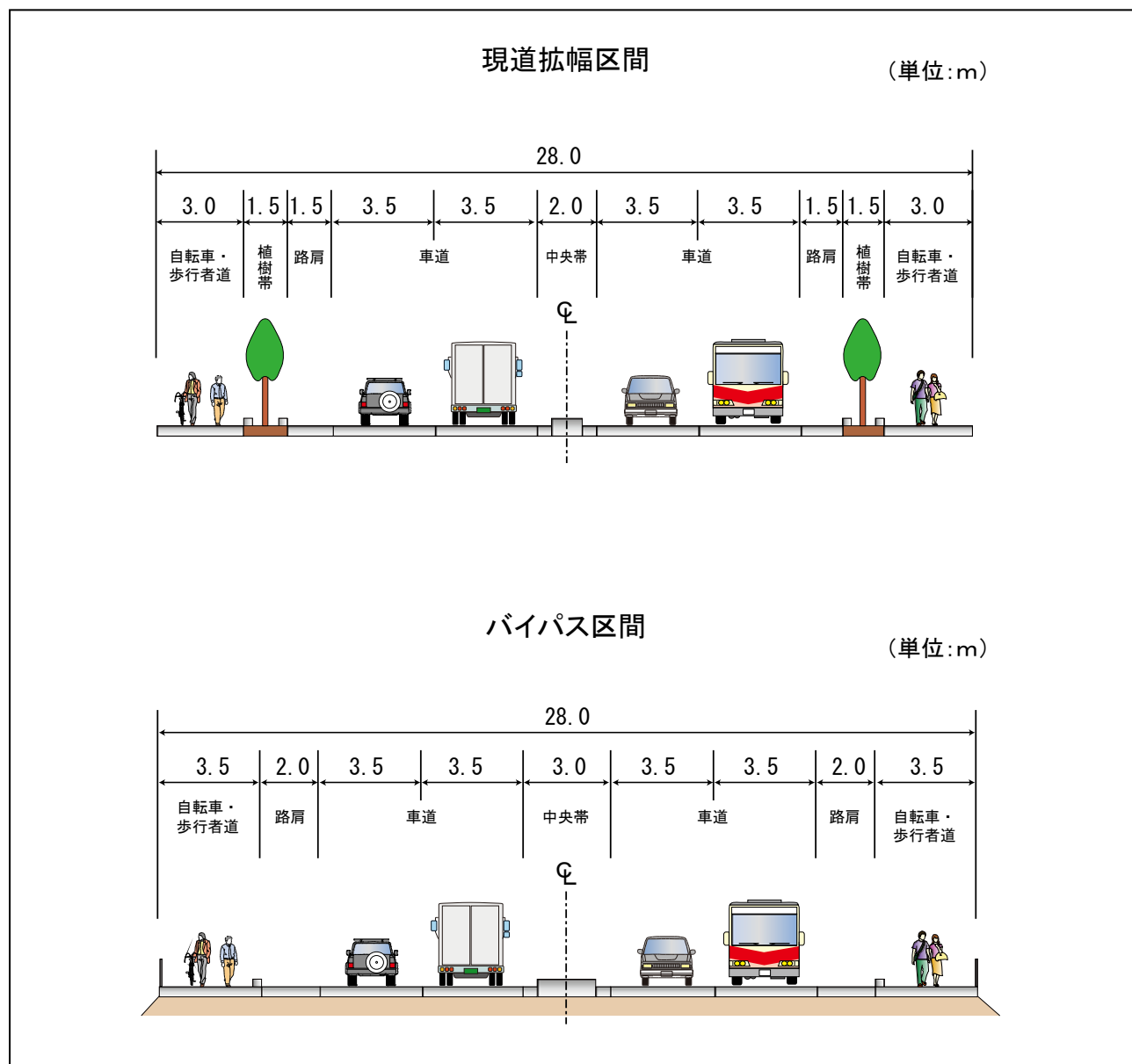


※交通量：H22道路交通センサス（平日）

2) 事業の概要

- 事業名：国道159号 なな お 七尾バイパス
- 延長：4.3km なな お し かわらまち
- 起終点：(起) 石川県七尾市川原町 なな お し しもまち
(終) 石川県七尾市下町
- 都市計画決定：平成11年度
- 事業化：平成12年度
- 全体事業費：約240億円
- 平成24年度末までの投資額（予定）：約66億円（進捗率27%）

【標準断面図】



2. 現在に至る経緯等

1) 事業の経緯

年 度	主な経緯
平成11年度	・都市計画決定
平成12年度	・事業化
	・用地着手
平成21年度	・事業再評価(指摘事項なし、継続)
	・工事着手

2) 事業の進捗状況

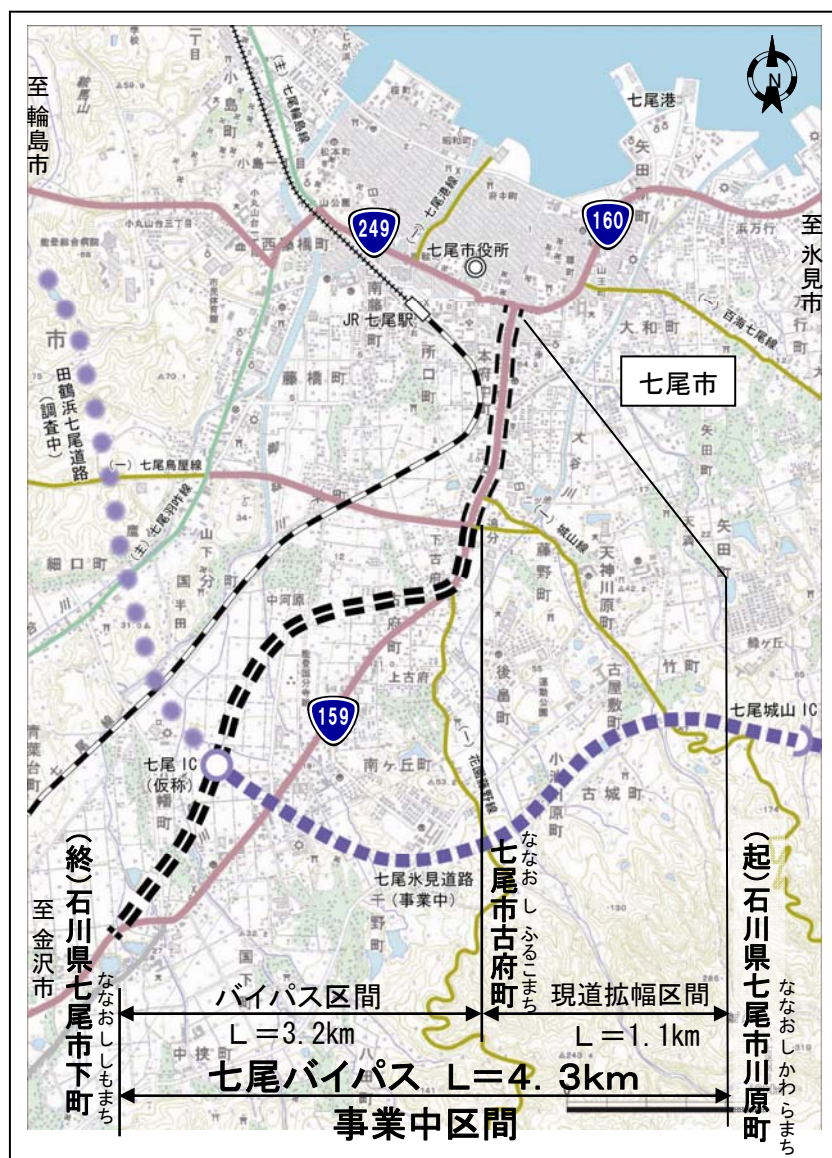
平成24年度末時点

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	240億円	66億円	27%	174億円
うち用地費・補償費	131億円	48億円	37%	83億円

※金額は税込み

3) 今後の事業展開

- 七尾市古府町～下町間(3.2km)のバイパス区間については、平成26年度の能越自動車道七尾氷見道路の全線供用に併せて暫定2車線で供用すべく、道路改良工事を推進する。
- バイパス区間の暫定2車線供用後は、能越自動車道七尾氷見道路からの交通などで、現道拡幅区間の交通量増加が予想されることから、現道拡幅区間の4車線拡幅整備を実施する。
- 残る事業については、交通状況を勘案し、関係機関と調整を図りながら行う。



3. 当該道路の役割・効果(詳細は6ページ以降に記載)

< 3 便益に係る整備効果 >

① 走行時間の短縮 (6、7ページ)

- 七尾バイパスの整備により、事業区間の走行時間が約4分(44%)短縮する。
- 七尾バイパスの整備により、円滑な走行環境が確保され、事業区間及びその周辺における損失時間が年間約436万人時間削減される。また、走行時間の短縮により、年間7.5億円の便益が発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると218億円と算出される。

【走行時間短縮便益】

= 整備前総走行時間費用 - 整備後総走行時間費用

= 7.5(億円/年) ※

総走行時間費用 = $\sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別走行時間(分)} \\ \times \text{車種別時間価値原単位(円/台・分)}] \times 365(\text{日/年})$

※ 供用開始年次の便益

割引率等を考慮

218億円(事業全体・残事業)

② 走行経費の減少

- 七尾バイパスの整備による走行経費の減少に伴って、年間1.7億円の便益が発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると41億円と算出される。

【走行経費減少便益】

= 整備前総走行経費 - 整備後総走行経費

= 1.7(億円/年) ※

総走行経費 = $\sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別延長(km)} \\ \times \text{車種別走行経費原単位(円/台・km)}] \times 365(\text{日/年})$

※ 供用開始年次の便益

割引率等を考慮

41億円(事業全体・残事業)

③ 交通事故の減少 (8ページ)

- 七尾バイパスの整備により、現道の通過交通の転換や現道拡幅区間の走行性の向上が図られ、年間約15件の死傷事故件数の削減が期待される。
- 七尾バイパスの整備による事故件数の減少により、年間0.8億円の便益が発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると22億円と算出される。

【交通事故減少便益】

= 整備前の交通事故による社会的損失 - 整備後の交通事故による社会的損失

= 0.8(億円/年) ※

※ 供用開始年次の便益

割引率等を考慮

22億円(事業全体・残事業)

<その他の効果>

①大規模道路事業との連携（9ページ）

- 七尾バイパスは、平成26年度に全線供用を予定している能越自動車道七尾氷見道路のアクセス道路である。
- 当該事業により、能越自動車道の七尾IC（仮称）と七尾市街地や金沢市方面との円滑な交通の確保が図られる。

②日常生活圏中心都市へのアクセス向上（10ページ）

- 多くの公共施設や企業が集まる七尾市と羽咋市や中能登町では、通勤者等の流動が多くみられている。
- 当該事業により、中能登町役場と七尾市役所間において所要時間の短縮が見込まれるなど、七尾市街地へのアクセス向上が図られる。

③重要港湾七尾港からの物流円滑化（11ページ）

- 七尾港は、L P G国家備蓄基地や七尾大田火力発電所を有し、エネルギー確保などの拠点となる重要港湾である。
- 当該事業により、七尾港と羽咋市内のL P G充填施設間において所要時間の短縮が見込まれ、七尾港からの物流円滑化が期待される。

④主要な観光地へのアクセス向上（12ページ）

- 七尾市街地およびその周辺は、様々な観光施設に恵まれている。また、伝統行事・イベントも多く行われている。
- 当該事業により、これらの主要観光施設へのアクセス性向上や、イベント時の集客のさらなる向上が期待される。
- また、当該事業の沿道で整備が進められている、大規模公園（能登国分寺公園）へのアクセス向上が図られる。

⑤第三次救急医療施設へのアクセス向上（13ページ）

- 七尾市の能登総合病院は、能登地域唯一の第三次救急医療施設として、能登半島全体の高度救急医療を担う重要な地域中核病院である。
- 七尾バイパスの整備及び、七尾バイパスが能越自動車道七尾氷見道路と一体的に機能することにより、能登総合病院への30分圏域の大幅な拡大が見込まれる。

⑥緊急輸送道路の強化（14ページ）

- 津波発生時には、七尾市中心部や沿岸部において浸水被害の恐れあり。
- 国道159号は、石川県の第一次緊急輸送道路に位置付けられている。
- 当該事業により、災害時の救援救助活動において信頼性の向上が期待され、能越自動車道七尾氷見道路と連携して、緊急輸送道路の機能強化が期待される。

⑦地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援（15ページ）

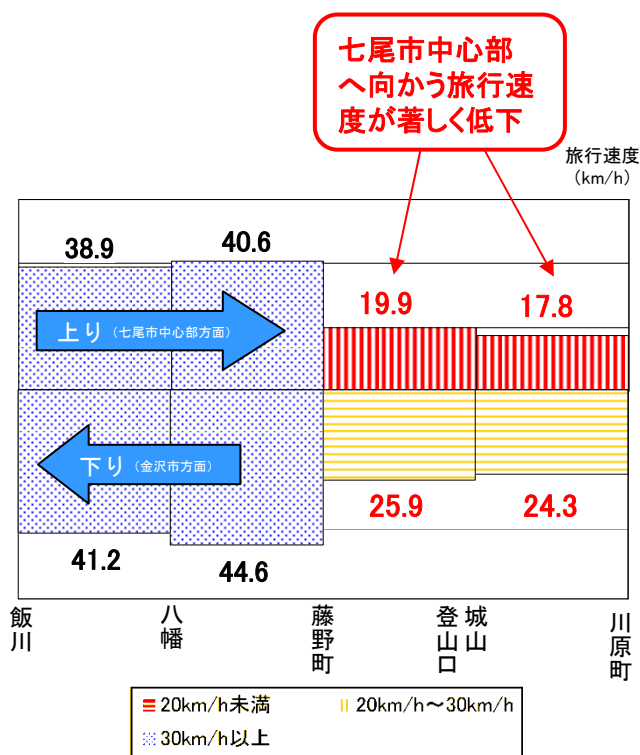
- 石川県が取り組んでいる「ダブルラダー結いの道」整備構想の中において、七尾バイパスは南北幹線として位置づけられている。
- 当該事業により、構想の実現に向けたネットワーク強化が図られる。

1) 3便益に係る整備効果

① 走行時間の短縮

- 七尾バイパスの現道である国道159号には、朝ピーク時の旅行速度が20km/h未満の区間が存在。
- 七尾バイパスの整備により、円滑な走行環境が確保され、事業区間において約4分の走行時間の短縮効果が見込まれる。

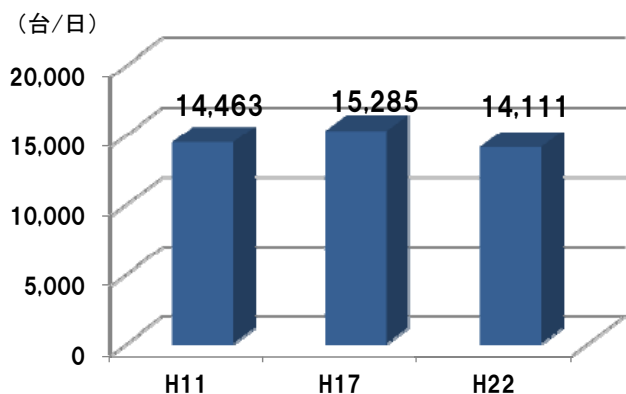
【七尾市街地における国道159号の
旅行速度(朝ピーク時平均)】



※出典：民間プローブデータ
(平日朝ピーク時(7時～9時)の平均旅行速度)

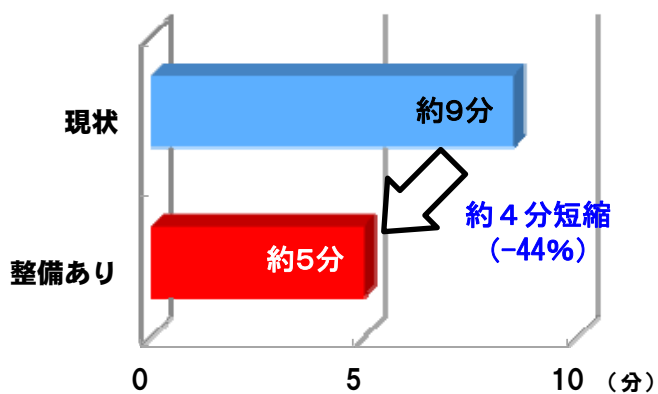


【日交通量の推移】
(七尾市古府町)



※出典：道路交通センサス

【七尾バイパス整備時の時間短縮効果】
(七尾市川原町～下町間)



※出典：
現状：H22センサスの混雑時旅行速度を用いて算出
整備あり：H42将来推計値の速度を用いて算出

②渋滞損失時間の減少

- 七尾バイパスの現道である国道159号では、主に通勤時間帯において慢性的な交通混雑が発生している。
- 七尾バイパスの整備により、円滑な走行環境が確保され、事業区間及びその周辺において、年間約436万人時間の損失時間の削減効果が見込まれる。



【七尾市中心部における混雑の状況】

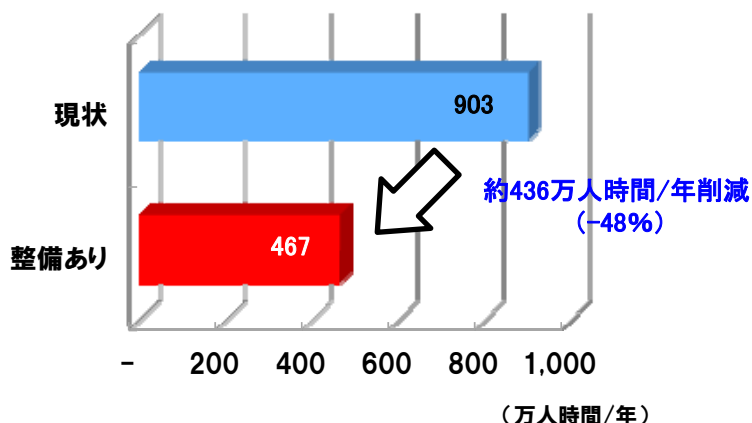


写真①: 現道拡幅区間の渋滞状況
(川原町交差点付近)



写真②: 現道拡幅区間の渋滞状況
(本府中交差点付近)

【七尾バイパス整備による損失時間の変化】

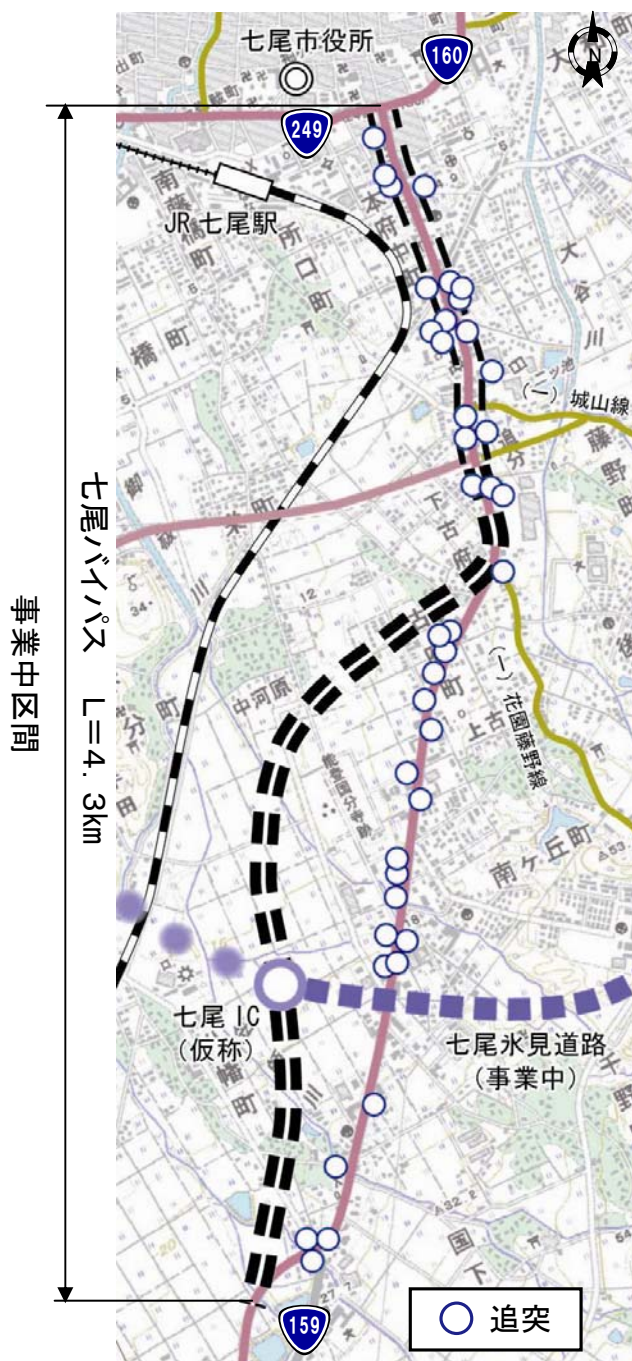


※出典: H42将来推計値を用いて算出

③交通事故件数の減少

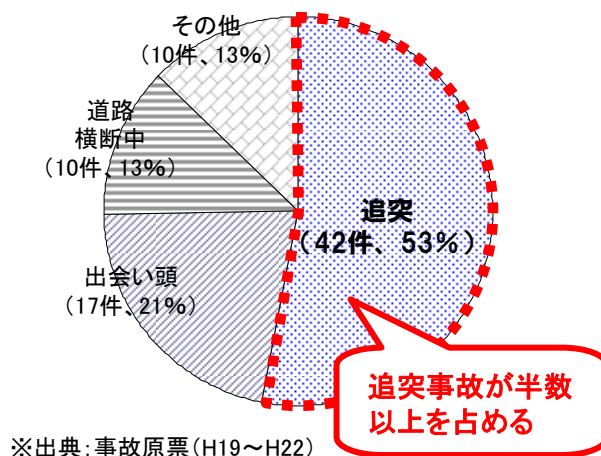
- 七尾バイパスの現道である国道159号では、朝夕ピーク時の混雑による旅行速度の低下が要因と考えられる追突事故が多発している。
- 七尾バイパスの整備により、バイパス区間への交通転換や現道拡幅区間の走行性が向上することで、年間約15件の死傷事故件数の削減効果が期待され、特に、混雑の緩和による追突事故の減少が期待される。

【七尾市内の国道159号における交通事故発生状況（H19～H22）】

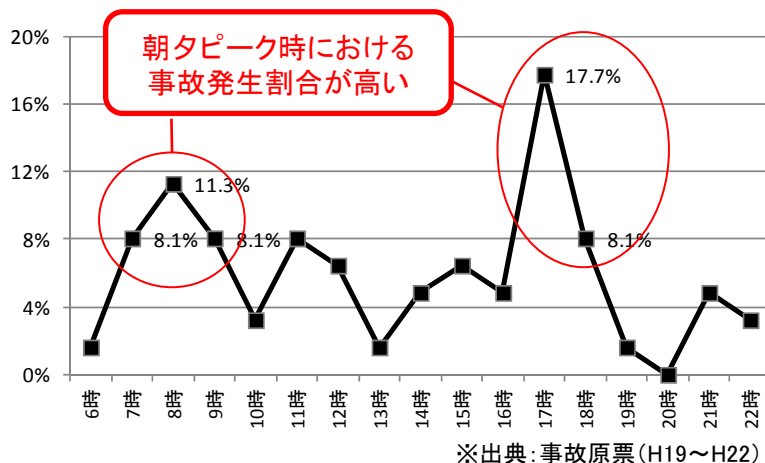


※出典：交通事故図（H19～H22）

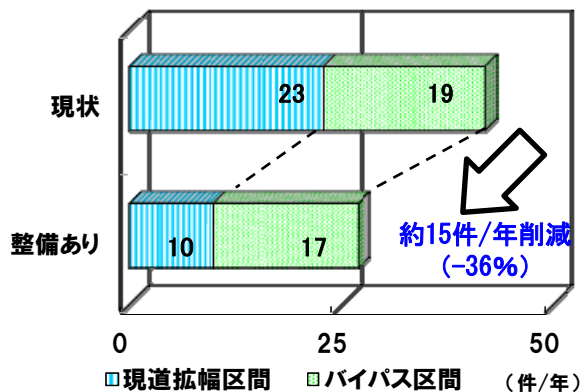
【七尾バイパス区間における事故形態】



【時間帯別の追突事故発生状況】



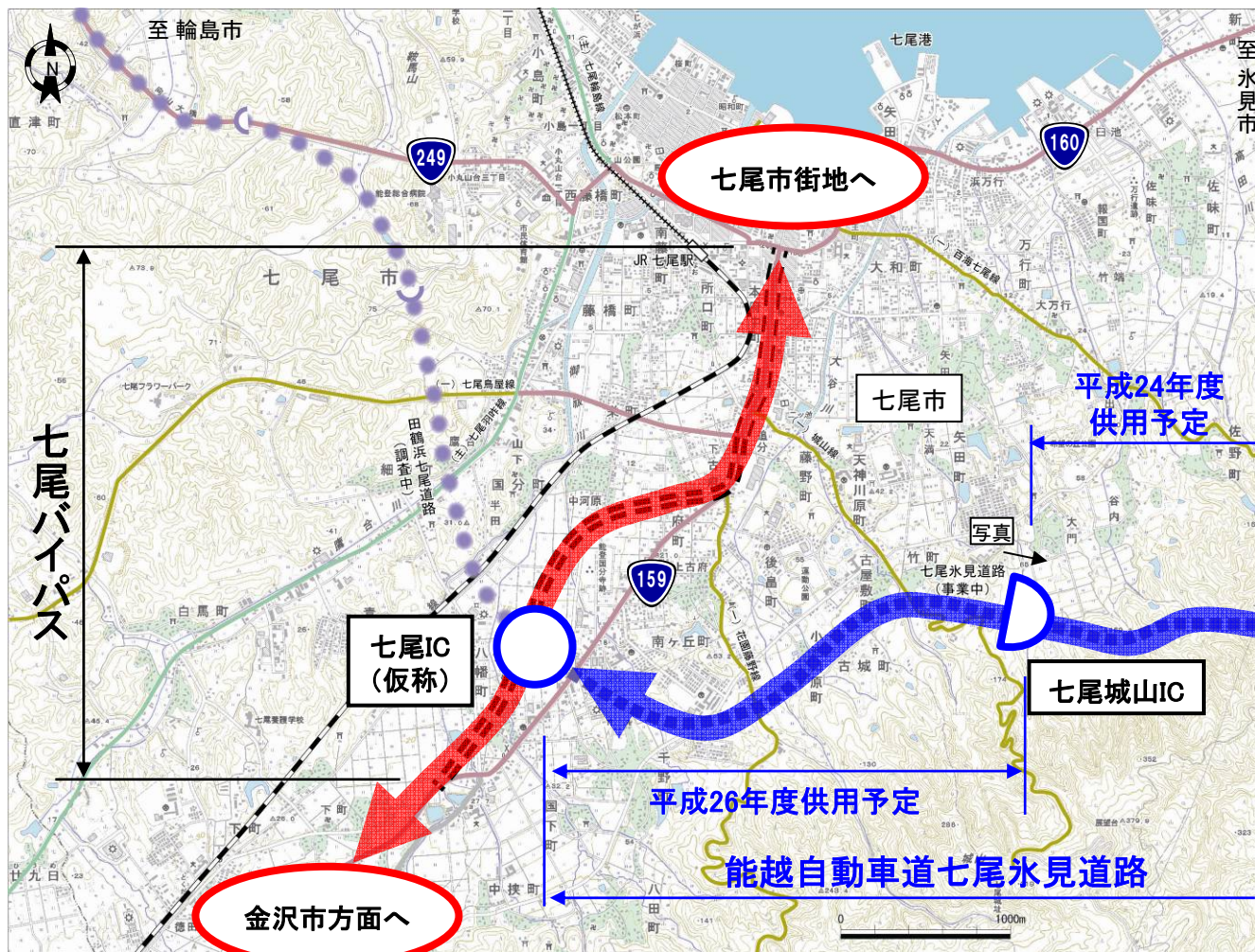
【国道159号（現道）の死傷事故件数】



2)その他の効果

①大規模道路事業との連携

- 七尾バイパスは、平成26年度に全線供用を予定している能越自動車道七尾氷見道路のアクセス道路である。
- 能越自動車道七尾氷見道路との一体的な整備により、七尾IC（仮称）と七尾市街地や金沢市方面との円滑な交通の確保が図られる。



【能越自動車道の整備状況】



【能越自動車道の概要】

- 能越自動車道は、小矢部砺波JCTで北陸自動車道および東海北陸自動車道と接続する、延長約100kmの高規格幹線道路。
- 北陸圏だけでなく、三大都市圏とのアクセス性の大幅な向上が期待される。



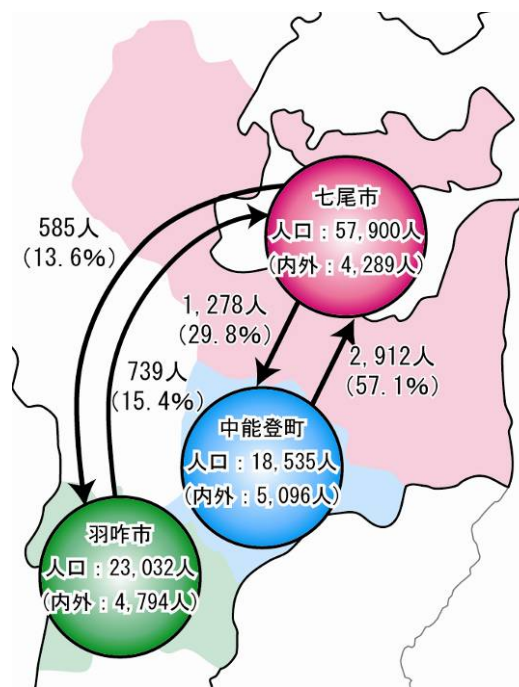
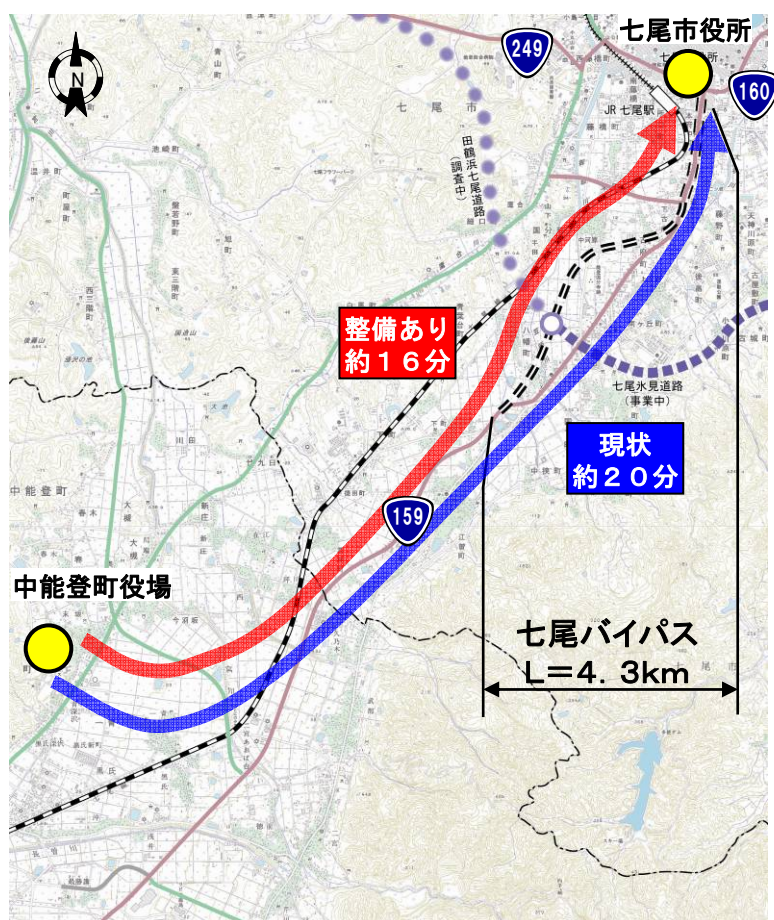
【整備中の七尾城山IC付近の状況】

②日常生活圏中心都市へのアクセス向上

- 多くの公共施設や企業が集まる七尾市と羽咋市や中能登町では、通勤者等の流動が多くみられている。
- 七尾バイパスの整備により、中能登町役場と七尾市役所間において約4分の所要時間の短縮効果が見込まれるなど、七尾市街地へのアクセス向上が図られる。

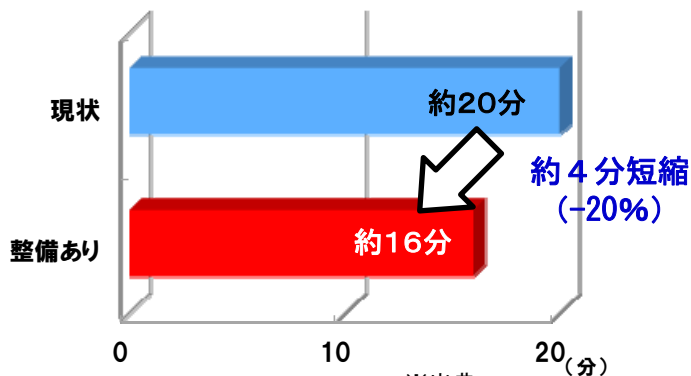
【中能登町役場から七尾市役所への
アクセスルートと所要時間】

【七尾市と羽咋市・
中能登町間の通勤通学動態】



※出典：H22国勢調査
()内の%：内外全数のうち、各都市間の移動が占める割合

【中能登町役場～七尾市役所への所要時間】



※出典：
現状：H22センサスの混雑時旅行速度を用いて算出
整備あり：H42将来推計値の速度を用いて算出

③重要港湾七尾港からの物流円滑化

- 七尾港は、LPG国家備蓄基地や七尾大田火力発電所を有し、エネルギー確保などの拠点となる重要港湾である。
- 七尾バイパスの整備により、七尾港と羽咋市内のLPG充填施設間において約4分の所要時間の短縮が見込まれるなど、七尾港からの物流円滑化が期待される。



七尾港の鳥瞰「七尾港統計年報」(石川県七尾港湾事務所)より引用



LPG国家備蓄基地



LPG充填施設(羽咋市)

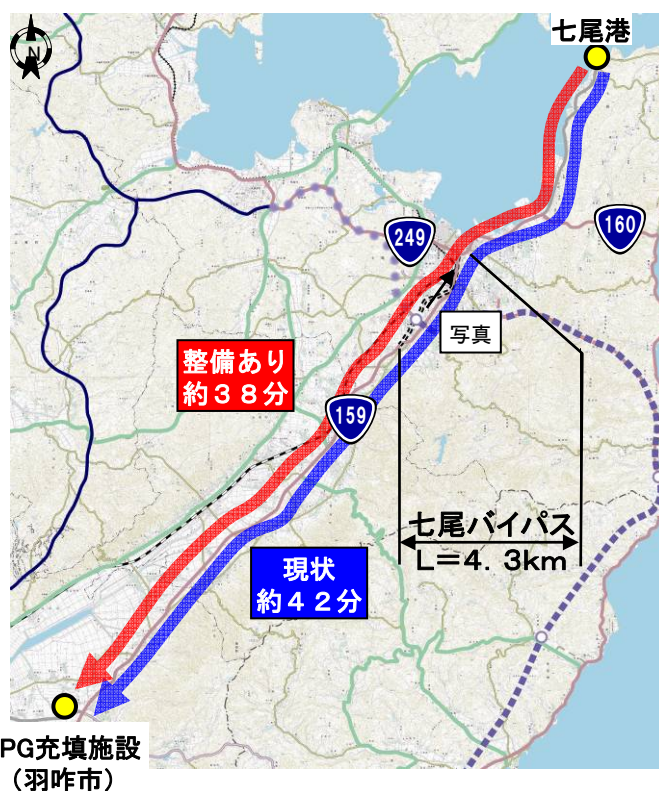


七尾大田火力発電所

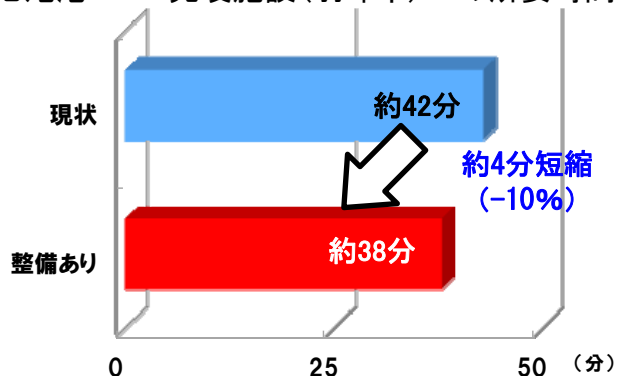
【七尾市街地を走行するLPG運搬車】



【七尾港からLPG充填施設へのアクセスルートと所要時間】



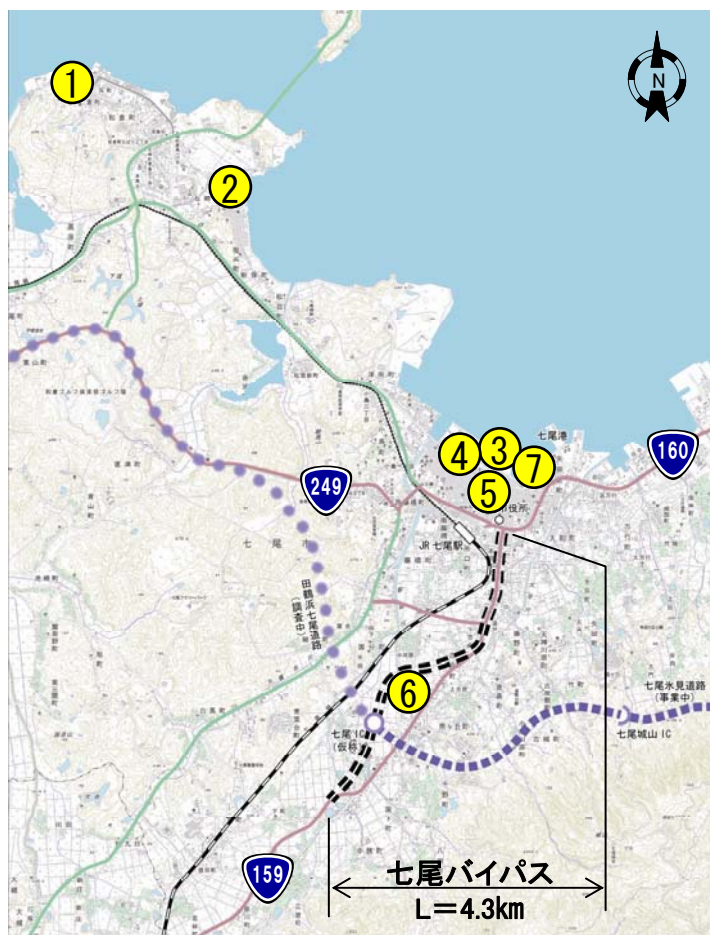
【七尾港～LPG充填施設(羽咋市)への所要時間】



※出典：
現状：H22センサスの混雑時旅行速度を用いて算出
整備あり：H42将来推計値の速度を用いて算出

④主要な観光地へのアクセス向上

- 七尾市街地およびその周辺は、様々な観光施設に恵まれている。また、伝統行事・イベントも多く行われている。
- 七尾バイパスの整備により、これらの主要観光施設へのアクセス性向上や、イベント時の集客のさらなる向上が期待される。
- また、七尾バイパスの沿道においては、大規模公園(能登国分寺公園)の整備が進められており、七尾バイパスの整備により、同公園へのアクセス向上が図られる。



和倉温泉
(94.5万人/年)



石崎奉灯まつり
(3.3万人/期間)



能登食祭市場
(80.4万人/年)



青柏祭
(16.4万人/期間)



花嫁のれん展
(8.2万人/期間)



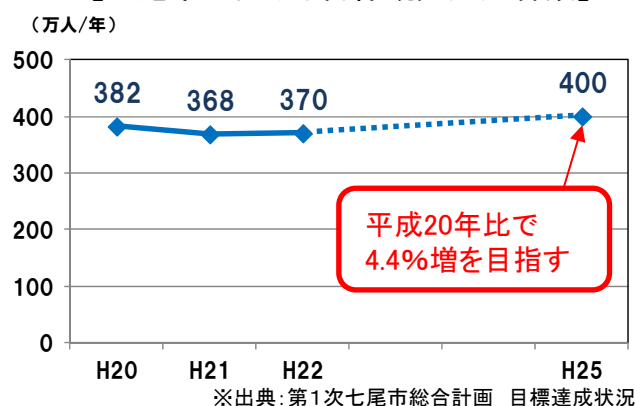
七尾市HPより
能登国分寺公園
(整備中)



七尾市HPより
七尾マリンパーク

※出典
写真: 石川県観光情報HP
入込客数: 統計からみた石川の観光(H22)

【七尾市における目標観光入込客数】



【能登国分寺公園(県事業)の完成予想図】

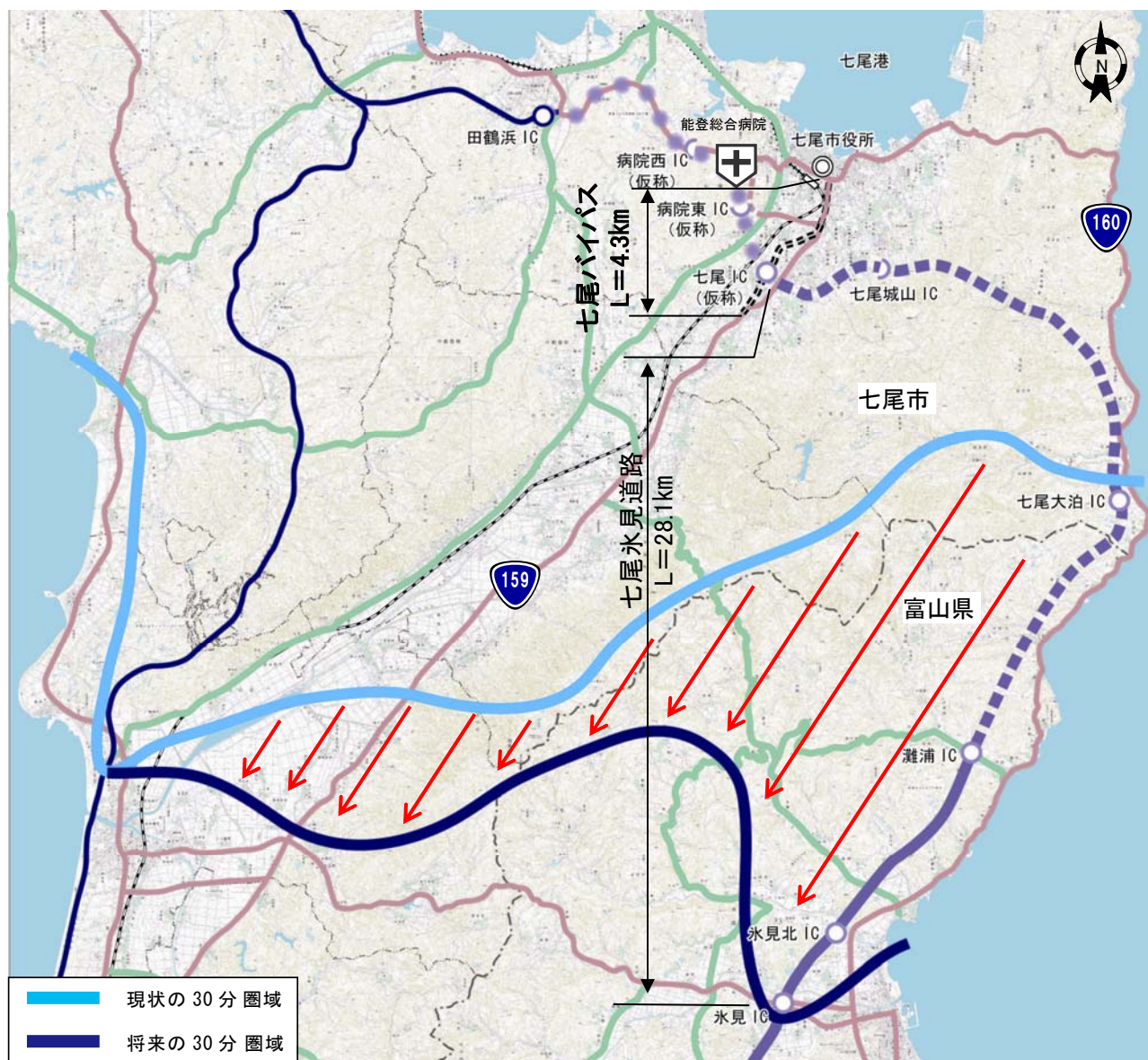


- 七尾市では、平成25年の観光入込客数の目標を400万人(平成20年比4.4%増)としており、目標達成に向けた取り組みを展開。

- 能登国分寺公園の整備方針の一つとして、七尾バイパスからの沿道利用機能の創出を目指した植栽・広場等の整備を掲げている。

⑤第三次救急医療施設へのアクセス向上

- 七尾市の能登総合病院は、能登地域唯一の第三次救急医療施設として、能登半島全体の高度救急医療を担う重要な地域中核病院である。
- 七尾バイパスの整備及び、七尾バイパスが能越自動車道七尾氷見道路と一体的に機能することにより、能登総合病院への30分圏域の大幅な拡大が見込まれる。



※出典:

現況の圏域: H22センサスの12時間平均旅行速度を用いて算出
 将来の圏域: H42将来推計値の速度を用いて算出
 (七尾氷見道路の供用を見込む)

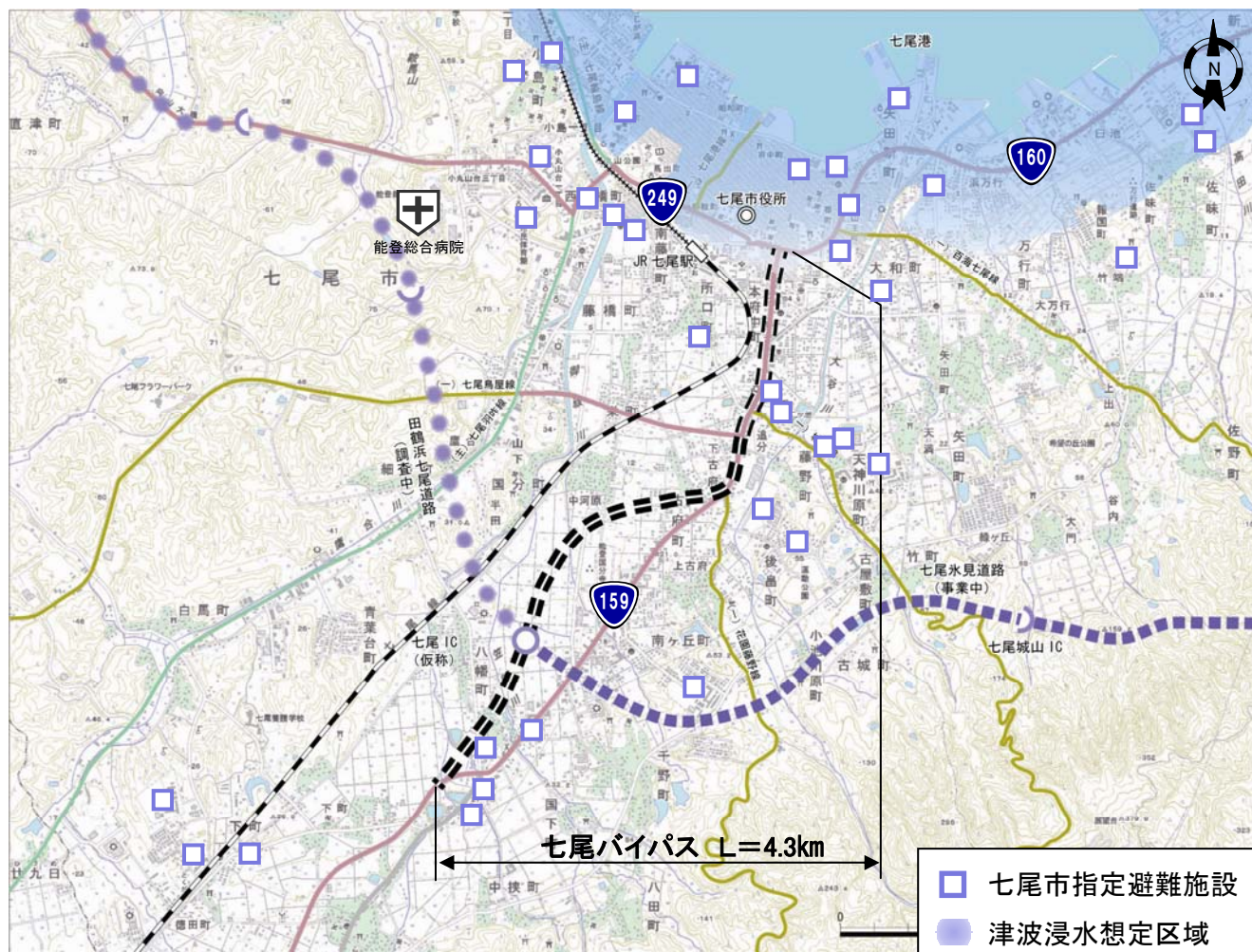


【能登総合病院】

能登地域で唯一の第三次救急医療施設であり、七尾バイパスの整備により、救命率の向上に寄与することが期待される。

⑥緊急輸送道路の強化

- 津波発生時には七尾市中心部や沿岸部において、浸水被害を受ける恐れがある。
- 七尾バイパスの現道である国道159号は、石川県の第一次緊急輸送道路に位置付けられており、災害時における救助救援活動に重要な役割を果たす路線である。
- 七尾バイパスの整備により、能越自動車道七尾氷見道路と一体となった緊急輸送道路としての機能強化が期待される。



※出典：七尾市地域防災計画



【大雪時の国道159号の状況（七尾市内）】

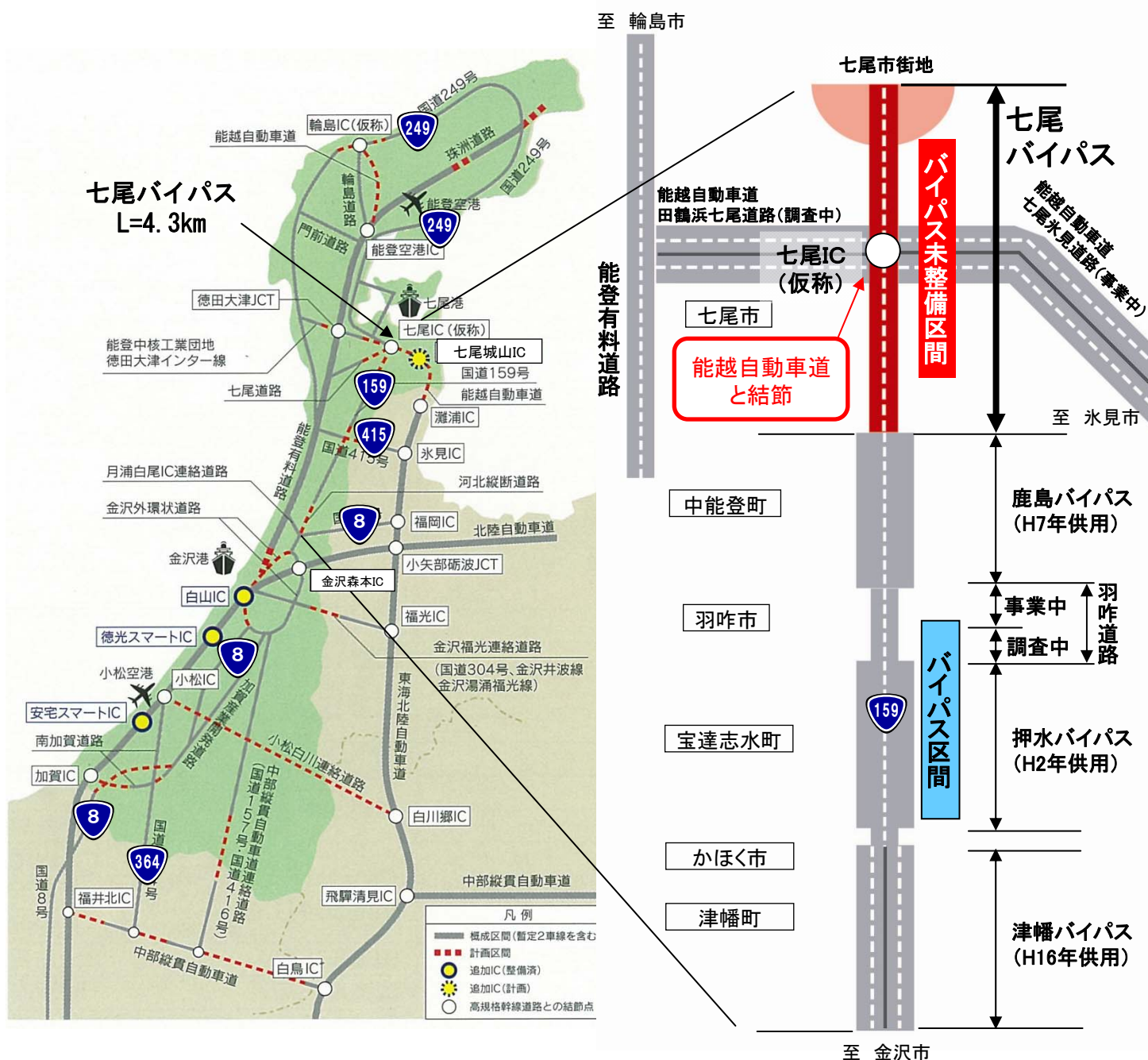
七尾バイパスは十分な堆雪幅を有しており、整備後は、冬期においても円滑な交通の確保が期待される。

⑦地域連携プロジェクト(石川県長期構想)の支援

- 石川県が取り組んでいる「ダブルラダー結いの道」整備構想の中において、七尾バイパスは南北幹線として位置づけられており、本区間の整備により、構想の実現に向けたネットワーク強化が図られる。

【「ダブルラダー結いの道」整備構想図】

【国道159号のバイパス化の状況】



※「ダブルラダー結いの道」整備構想

平成19年3月、県の新長期構想の改定に合わせて策定した構想。南北幹線の複線化と東西幹線の多重化を進め、2本のはしご(ラダー)状道路ネットワークの形成等をうたった構想。

4. 費用対効果

- ・基準年における費用及び便益の現在価値

現在価値算出のための割引率：4%

基準年次：平成24年度

検討年数：50年

- ・将来道路網：現在の一般県道以上の道路網を基本に、平成24年4月時点で事業化済みの計画路線を対象に設定した道路網である。

＜費用＞

基準年における現在価値		事業費	維持管理費
事業全体	237億円	206億円	30億円
残事業	163億円	132億円	30億円

＜3便益＞

基準年における現在価値		走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益
事業全体	281億円	218億円	41億円	22億円
残事業				

※冬期の積雪等の影響を考慮

＜3便益による費用便益比＞

費用便益比(B/C)	
事業全体	281億円/237億円 = 1.2
残事業	281億円/163億円 = 1.7

注) 1. 費用及び便益額は整数止めとする。

2. 費用及び便益額の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

＜その他の効果＞

七尾バイパスの役割	具体的内容
① 大規模道路事業との連携	● 平成26年度に全線暫定2車線供用予定の能越自動車道七尾氷見道路との一体的な整備により、七尾市街地や金沢方面への円滑な交通確保に寄与。
② 日常生活圏中心都市へのアクセス向上	● 日常生活圏の中心都市へのアクセスが向上。 (中能登町役場～七尾市役所間 約4分短縮(-20%))
③ 重要港湾七尾港からの物流円滑化	● 七尾港からの物流円滑化に寄与。 (七尾港～LPG充填施設(羽咋市)間 約4分短縮(-10%))
④ 主要な観光地へのアクセス向上	● 豊富な観光施設へのアクセス性が向上。
⑤ 第三次救急医療施設へのアクセス向上	● 能登総合病院への30分圏域の拡大。
⑥ 緊急輸送道路の強化	● 国道159号の緊急輸送道路としての機能強化。
⑦ 地域連携プロジェクト(石川県長期構想)の支援	● 石川県の長期計画である「ダブルラダー結いの道」整備構想を支援。

5. 対応方針(原案)

①事業の必要性等に関する視点

- ・七尾バイパスの現道である国道159号では、朝夕ピーク時を中心に交通混雑が発生しているほか、速度低下に起因した死傷事故も発生しており、安全かつ快適な走行環境を確保する必要がある。
- ・七尾バイパスは、地形、土地利用状況、能越自動車道七尾氷見道路との接続などを勘案した路線計画となっており、交通混雑の緩和、死傷事故の削減、広域幹線ネットワークの充実強化など、期待される効果は大きい。

②事業進捗の見込みの視点

- ・平成26年度のバイパス区間の暫定2車線供用を目指して事業を進めており、周辺市町からも整備の要望が強い。
- ・また、バイパス部は地元・関係機関との協議・了解により、既に約9割の用地取得が完了しており、一部残件は、任意による用地取得及び土地収用法に基づく手続きにより取得する見込み。
- ・バイパス区間の暫定2車線供用後は、交通量の増加が見込まれる現道拡幅区間の4車線化の推進を図り、残る事業については、交通状況を勘案し、関係機関と調整を図りながら行う。

③コスト縮減からの視点

- ・施工にあたっては、建設発生土の有効活用等により、コスト縮減を行っていく。

④対応方針(原案)

対応方針(原案) 事業継続

(理由)

- ・国道159号は、石川県を南北に結ぶ主要幹線道路であり、その一部を構成する七尾バイパスは、能越自動車道七尾氷見道路のアクセス道路としてや、沿線地域間の連携を支援するために重要な役割を担っている。
- ・七尾バイパスの整備により、交通混雑の緩和、死傷事故の削減、能越自動車道七尾氷見道路へのアクセス向上による広域幹線ネットワークの充実強化など期待される効果は大きい。
- ・3便益の費用便益比は、事業全体が1.2、残事業が1.7となり、投資効率性は確保されている。

客觀的評價指標抽出資料

【国道（二次改築）】

● 事業採択時の前提条件を確認するための指標

前提条件	(1) 事業の効率性	■ 便益が費用を上回っていること
------	------------	------------------

● 事業の効果や必要性を評価するための指標

1. 活力	(1) 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線 が存在する
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセ ス向上が見込まれる
	(2) 物流効率化支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が 向上
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ 輸送車が通行できない区間を解消する
	(3) 都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
		■ 中心市街地内で行う事業である
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業 である
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度 が向上する。
	(4) 国土・地域ネットワークの構築	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以 上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる
		□ 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)の位置づけあり
		□ 地域高規格道路の位置づけあり
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを 構成する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路 線を構成する
		□ 現道等における交通不能区間を解消する
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する
	(5) 個性ある地域の形成	■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる
		□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援す る
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される
		□ 特別立法に基づく事実である
		■ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整 備等、特色あるまちづくりに資する事業である

2. 暮らし	(1) 歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる ☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置づけがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される
	(2) 無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり ☐ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物群保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
	(3) 安全で安心できる暮らしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
3. 安全	(1) 安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる ☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
	(2) 災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する ☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり ☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する。(A'路線として位置づけがある場合) ☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される ☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する ☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する ☐ 幅員6m以上の道路がないため消化活動が出来ない地区が解消する ☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす
	(1) 地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	(2) 生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率 ● 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ☐ 現道等で騒音レベルが夜間が夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある ☐ その他、環境や景観上の効果が期待される
	(1) 他のプロジェクトとの関係	☐ 道路整備に関連するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている ☒ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり ☒ 他機関との連携プログラムに位置づけられている ☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる

※○印の指標は定量的な記述により効果を確認する。

□印の指標については定性的又は定量的な記述により効果の有無を確認する。

※●、■は該当する指標を示す。

○再評価実施時点における評価指標該当項目

前提条件

(1) 事業の効率性

$B/C = 1.2$ (事業全体の3便益による費用対効果)

$B/C = 1.7$ (残事業の3便益による費用対効果)

I. 活 力

(1) 円滑なモビリティの確保

・事業区間における渋滞損失時間の削減率＝約48% 【P7で詳述】

(現状：903万人時間/年 → 整備あり：467万人時間/年)

(2) 物流効率化の支援

・重要港湾七尾港からの物流円滑化が期待される。 【P11で詳述】

(七尾港～LPG充填施設(羽咋市) 現状：約42分 → 整備あり：約38分 約4分短縮(-10%))

(3) 都市の再生

・七尾市中心部へのアクセス向上が期待される。 【P10で詳述】

(4) 国土・地域ネットワークの構築

・日常生活圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 【P10で詳述】

(中能登町役場～七尾市役所 現状：約20分 → 整備あり：約16分 約4分短縮(-20%))

(5) 個性ある地域の形成

・主要な観光地へのアクセス向上が期待される。 【P12で詳述】

・大規模公園(能登国分寺公園)へのアクセス向上が期待される。 【P12で詳述】

II. 暮らし

(3) 安全で安心できる暮らしの確保

・第三次救急医療施設である能登総合病院へのアクセス向上が見込まれる。 【P13で詳述】

III. 安 全

(2) 災害への備え

・第一次緊急輸送道路としての位置づけあり。 【P14で詳述】

IV. 環 境

(1) 地球環境の保全

・費用便益分析対象エリアのCO₂排出量の削減量＝約1,700 t-CO₂/年

(整備なし 約15.0万t-CO₂/年 → 整備あり 約14.8万t-CO₂/年)

(2) 生活環境の改善・保全

・費用便益分析対象エリアのNO_x排出量の削減率＝約 7 t-NO_x/年 (約1.7%削減)

(整備なし 約 405 t-NO_x/年 → 整備あり 約 398 t-NO_x/年)

・費用便益分析対象エリアのSPM排出量の削減率＝約 1 t-SPM/年 (約 2.6%削減)

(整備なし 約 38 t-SPM/年 → 整備あり 約 37 t-SPM/年)

V. その他

(1) 他のプロジェクトとの関係

・能越自動車道七尾氷見道路との一体的な整備により七尾IC(仮称)から円滑な交通が確保される。 【P. 9で詳述】

・石川県の長期構想(「ダブルラダー 結いの道」整備構想)に位置付けられた道路であり、南北に長い石川県の連携向上が図られる。 【P. 15で詳述】

費用対効果算出資料

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
国道159号	七尾バイパス	L=4.3km	二次改築	現拡・ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
18,600～23,800	4	北陸地整

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成24年度		
単純合計	231億円	83億円	315億円
うち残事業分	167億円	83億円	251億円
基準年における 現在価値（Ｃ）	206億円	30億円	237億円
うち残事業分	132億円	30億円	163億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成24年度			
供 用 年	平成27年度、平成36年度			
単年便益 (初年便益)	7.5億円	1.7億円	0.84億円	10億円
基準年における 現在価値（Ｂ）	218億円	41億円	22億円	281億円
うち残事業分	218億円	41億円	22億円	281億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	44億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.0%
費用便益比（残事業）	1.7
経済的純現在価値（残事業）	118億円
経済的内部収益率（残事業）	8.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	18,600～23,800	±10%	1.0～1.3
事業費	231億円	±10%	1.1～1.3
事業期間	26年	±20% (±2年)	1.2～1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	18,600～23,800	±10%	1.4～1.9
事業費	167億円	±10%	1.6～1.9
事業期間	11年	±20% (±2年)	1.7～1.8

交通状況の変化

様式－3①

事業名：国道159号七尾バイパス

(事業全体・残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 〔七尾バイパス〕 :4.3km		交通量※ ¹	[台/日]	15,700	19,600
		走行時間※ ²	[分]	3	5
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	8.05	15.86
②主な周辺道路※ ⁴	①現道 (国道159号) :2.5km	交通量	[台/日]	12,800	300
		走行時間	[分]	5	4
		走行時間費用	[億円/年]	10.12	0.20
	②(主)七尾羽咋線 :3.7km	交通量	[台/日]	7,900	5,100
		走行時間	[分]	8	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.92	5.67
	③広域農道 :7.0km	交通量	[台/日]	3,100	1,100
		走行時間	[分]	12	11
		走行時間費用	[億円/年]	6.97	2.48
③その他道路合計 :586.2km		走行時間費用	[億円/年]	484.07	482.01

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 603.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	520.13	506.22	13.91

※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

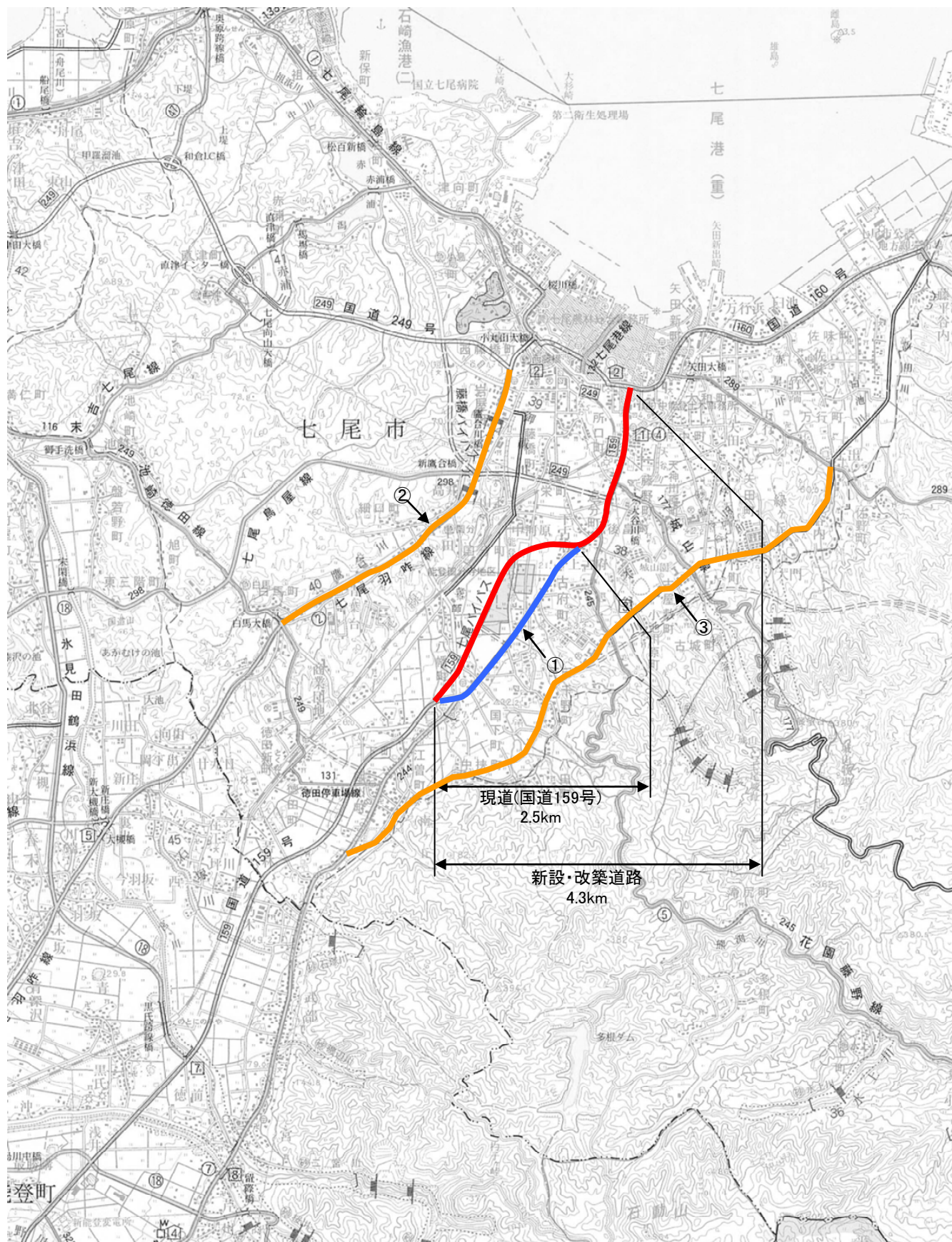
※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：国道159号七尾バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	H24年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 ☒ (H42年)		
		複数時点での推計 ☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17年センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
			☐	
	開発交通量の 考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日	
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の 推計手法	Q－V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q－V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
その他()				
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他()	☐		
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☐		
	採用理由を記載			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
	その他(最終配分でQ ₀ を超える場合、実態に即した速度で補正)	☒		

事業名：国道159号七尾バイパス

(3)

項目			チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数	() %
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	☐
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	☐	
		考慮する	☒	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	(75) 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(75日)及び降雪日数(34日)を考慮	
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
通常期と冬期の速度比(降雪時13%低下、降雪時以外6%低下)を考慮				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒		
	その他 ()	☐		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

事業名：国道159号七尾バイパス

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☒
		標準投資パターンを採用	☐
		その他(概略事業計画による値を採用)	☐
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☒
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名：国道159号七尾バイパス

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：国道159号七尾バイパス					単価(億円)		延長(km)	単純価値(億円)	
					0.444		4.3	1.91	
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)			
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値		
－17年目	H 10	1.7317	109.9	0.19	0.28				
－16年目	H 11	1.6651	108.4	1.05	1.51				
－15年目	H 12	1.6010	107.2	5.79	8.81				
－14年目	H 13	1.5395	105.7	3.22	4.69				
－13年目	H 14	1.4802	103.8	1.48	2.14				
－12年目	H 15	1.4233	102.3	7.51	10.49				
－11年目	H 16	1.3686	101.0	3.35	4.48				
－10年目	H 17	1.3159	99.6	1.10	1.36				
－9年目	H 18	1.2653	98.7	1.71	2.06				
－8年目	H 19	1.2167	97.6	4.45	5.37				
－7年目	H 20	1.1699	96.8	4.43	5.04				
－6年目	H 21	1.1249	95.6	3.75	4.15				
－5年目	H 22	1.0816	93.8	7.44	8.05				
－4年目	H 23	1.0400	93.8	9.34	9.71				
－3年目	H 24	1.0000	93.8	9.18	9.18				
－2年目	H 25	0.9615	93.8	30.55	29.37				
－1年目	H 26	0.9246	93.8	23.76	21.97				
供用開始年次	H 27	0.8890	93.8	3.33	2.96		0.99		0.88
1年目	H 28	0.8548	93.8	9.90	8.47		0.99		0.85
2年目	H 29	0.8219	93.8	16.62	13.66		0.99		0.81
3年目	H 30	0.7903	93.8	16.90	13.36		0.99		0.78
4年目	H 31	0.7599	93.8	17.38	13.21		0.99		0.75
5年目	H 32	0.7307	93.8	14.52	10.61		0.99		0.72
6年目	H 33	0.7026	93.8	14.47	10.16		0.99		0.70
7年目	H 34	0.6756	93.8	9.52	6.43		0.99		0.67
8年目	H 35	0.6496	93.8	10.48	6.81		0.99		0.64
9年目	H 36	0.6246	93.8				1.82		1.14
10年目	H 37	0.6006	93.8				1.82		1.09
11年目	H 38	0.5775	93.8				1.82		1.05
12年目	H 39	0.5553	93.8				1.82		1.01
13年目	H 40	0.5339	93.8				1.82		0.97
14年目	H 41	0.5134	93.8				1.82		0.93
15年目	H 42	0.4936	93.8				1.82		0.90
16年目	H 43	0.4746	93.8				1.82		0.86
17年目	H 44	0.4564	93.8				1.82		0.83
18年目	H 45	0.4388	93.8				1.82		0.80
19年目	H 46	0.4220	93.8				1.82		0.77
20年目	H 47	0.4057	93.8				1.82		0.74
21年目	H 48	0.3901	93.8				1.82		0.71
22年目	H 49	0.3751	93.8				1.82		0.68
23年目	H 50	0.3607	93.8				1.82		0.66
24年目	H 51	0.3468	93.8				1.82		0.63
25年目	H 52	0.3335	93.8				1.82		0.61
26年目	H 53	0.3207	93.8				1.82		0.58
27年目	H 54	0.3083	93.8				1.82		0.56
28年目	H 55	0.2965	93.8				1.82		0.54
29年目	H 56	0.2851	93.8				1.82		0.52
30年目	H 57	0.2741	93.8				1.82		0.50
31年目	H 58	0.2636	93.8				1.82		0.48
32年目	H 59	0.2534	93.8				1.82		0.46
33年目	H 60	0.2437	93.8				1.82		0.44
34年目	H 61	0.2343	93.8				1.82		0.43
35年目	H 62	0.2253	93.8				1.82		0.41
36年目	H 63	0.2166	93.8				1.82		0.39
37年目	H 64	0.2083	93.8				1.82		0.38
38年目	H 65	0.2003	93.8				1.82		0.36
39年目	H 66	0.1926	93.8				1.82		0.35
40年目	H 67	0.1852	93.8				1.82		0.34
41年目	H 68	0.1780	93.8				1.82		0.32
42年目	H 69	0.1712	93.8				1.82		0.31
43年目	H 70	0.1646	93.8				1.82		0.30
44年目	H 71	0.1583	93.8				1.82		0.29
45年目	H 72	0.1522	93.8				1.82		0.28
46年目	H 73	0.1463	93.8				1.82		0.27
47年目	H 74	0.1407	93.8				1.82		0.26
48年目	H 75	0.1353	93.8				1.82		0.25
49年目	H 76	0.1301	93.8				1.82		0.24
合 計				170.96	206.46		83.50		30.44
単純事業費計				231.43			83.50		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道159号七尾バイパス

					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.444	4.3	1.91
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)	維持管理費(億円)		
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
－3年目	H 24	1.0000	93.8				
－2年目	H 25	0.9615	93.8	30.55	29.37		
－1年目	H 26	0.9246	93.8	23.76	21.97		
供用開始年次	H 27	0.8890	93.8	3.33	2.96	0.99	0.88
1年目	H 28	0.8548	93.8	9.90	8.47	0.99	0.85
2年目	H 29	0.8219	93.8	16.62	13.66	0.99	0.81
3年目	H 30	0.7903	93.8	16.90	13.36	0.99	0.78
4年目	H 31	0.7599	93.8	17.38	13.21	0.99	0.75
5年目	H 32	0.7307	93.8	14.52	10.61	0.99	0.72
6年目	H 33	0.7026	93.8	14.47	10.16	0.99	0.70
7年目	H 34	0.6756	93.8	9.52	6.43	0.99	0.67
8年目	H 35	0.6496	93.8	10.48	6.81	0.99	0.64
9年目	H 36	0.6246	93.8			1.82	1.14
10年目	H 37	0.6006	93.8			1.82	1.09
11年目	H 38	0.5775	93.8			1.82	1.05
12年目	H 39	0.5553	93.8			1.82	1.01
13年目	H 40	0.5339	93.8			1.82	0.97
14年目	H 41	0.5134	93.8			1.82	0.93
15年目	H 42	0.4936	93.8			1.82	0.90
16年目	H 43	0.4746	93.8			1.82	0.86
17年目	H 44	0.4564	93.8			1.82	0.83
18年目	H 45	0.4388	93.8			1.82	0.80
19年目	H 46	0.4220	93.8			1.82	0.77
20年目	H 47	0.4057	93.8			1.82	0.74
21年目	H 48	0.3901	93.8			1.82	0.71
22年目	H 49	0.3751	93.8			1.82	0.68
23年目	H 50	0.3607	93.8			1.82	0.66
24年目	H 51	0.3468	93.8			1.82	0.63
25年目	H 52	0.3335	93.8			1.82	0.61
26年目	H 53	0.3207	93.8			1.82	0.58
27年目	H 54	0.3083	93.8			1.82	0.56
28年目	H 55	0.2965	93.8			1.82	0.54
29年目	H 56	0.2851	93.8			1.82	0.52
30年目	H 57	0.2741	93.8			1.82	0.50
31年目	H 58	0.2636	93.8			1.82	0.48
32年目	H 59	0.2534	93.8			1.82	0.46
33年目	H 60	0.2437	93.8			1.82	0.44
34年目	H 61	0.2343	93.8			1.82	0.43
35年目	H 62	0.2253	93.8			1.82	0.41
36年目	H 63	0.2166	93.8			1.82	0.39
37年目	H 64	0.2083	93.8			1.82	0.38
38年目	H 65	0.2003	93.8			1.82	0.36
39年目	H 66	0.1926	93.8			1.82	0.35
40年目	H 67	0.1852	93.8			1.82	0.34
41年目	H 68	0.1780	93.8			1.82	0.32
42年目	H 69	0.1712	93.8			1.82	0.31
43年目	H 70	0.1646	93.8			1.82	0.30
44年目	H 71	0.1583	93.8			1.82	0.29
45年目	H 72	0.1522	93.8			1.82	0.28
46年目	H 73	0.1463	93.8			1.82	0.27
47年目	H 74	0.1407	93.8			1.82	0.26
48年目	H 75	0.1353	93.8			1.82	0.25
49年目	H 76	0.1301	93.8	-36.30	-4.72	1.82	0.24
合 計				131.14	132.29	83.50	30.44
単純事業費計				167.44		83.50	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体・残事業）

箇所名：国道159号 七尾バイパス

年次 (基準年)	年度	総走行台キロの年次伸び率 (北陸7Divカ)							GDP テラート	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合 計 (億円)						
		乗用車類				小型貨物					普通貨物			現在価値 (①×A)		乗用車類		小型貨物		普通貨物			現在価値 (A)×(2)		③	現在価値 (③×A)	便益合計 (①~④)	割引率%
		全 車	普通貨物	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	①×A			乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	(A)×(2)													
供用開始年次	H 24	0.99460	0.98179	0.97381	0.99023	0.88990	93.8	4.87	1.60	1.03	7.51	6.67	1.13	0.30	0.29	1.71	1.52	0.84	0.75	10.06	8.95							
1年目	H 27	0.99457	0.98145	0.97310	0.99014	0.8848	93.8	4.85	1.57	1.01	7.42	6.34	1.12	0.30	0.28	1.70	1.45	0.83	0.71	9.95	8.51							
2年目	H 29	0.99454	0.98110	0.97236	0.99004	0.8219	93.8	4.82	1.54	0.98	7.34	6.03	1.11	0.29	0.27	1.68	1.38	0.83	0.68	9.84	8.09							
3年目	H 30	0.99451	0.98074	0.97157	0.98994	0.7903	93.8	4.79	1.51	0.95	7.25	5.73	1.11	0.28	0.26	1.66	1.31	0.82	0.65	9.73	7.69							
4年目	H 31	0.99448	0.98036	0.97074	0.98984	0.7599	93.8	4.77	1.48	0.92	7.17	5.45	1.10	0.28	0.26	1.64	1.24	0.81	0.61	9.62	7.31							
5年目	H 32	0.99445	0.97997	0.96986	0.98973	0.7307	93.8	4.74	1.45	0.89	7.09	5.18	1.10	0.27	0.25	1.62	1.18	0.80	0.58	9.50	6.94							
6年目	H 33	0.99588	0.98563	0.98106	0.99285	0.7026	93.8	4.72	1.43	0.88	7.03	4.94	1.09	0.27	0.24	1.60	1.13	0.79	0.56	9.43	6.62							
7年目	H 34	0.99586	0.98563	0.98070	0.99280	0.6756	93.8	4.70	1.41	0.86	6.97	4.71	1.09	0.27	0.24	1.59	1.08	0.79	0.53	9.35	6.32							
8年目	H 35	0.99585	0.98542	0.98032	0.99275	0.6496	93.8	4.68	1.39	0.84	6.92	4.49	1.08	0.26	0.23	1.58	1.03	0.78	0.51	9.28	6.03							
9年目	H 36	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.6246	93.8	10.71	2.62	1.17	14.56	9.10	1.89	0.37	0.27	2.54	1.58	1.44	0.90	18.54	11.58							
10年目	H 37	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.6006	93.8	10.72	2.58	1.14	14.45	8.68	1.88	0.36	0.27	2.52	1.51	1.43	0.86	18.40	11.05							
11年目	H 38	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.5775	93.8	10.68	2.55	1.12	14.35	8.28	1.87	0.36	0.26	2.50	1.44	1.42	0.82	18.26	10.55							
12年目	H 39	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.5553	93.8	10.63	2.51	1.10	14.24	7.91	1.87	0.35	0.26	2.48	1.38	1.41	0.78	18.13	10.06							
13年目	H 40	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.5339	93.8	10.59	2.47	1.07	14.13	7.54	1.86	0.35	0.25	2.46	1.31	1.40	0.75	17.99	9.60							
14年目	H 41	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.5134	93.8	10.54	2.43	1.05	14.02	7.20	1.85	0.34	0.25	2.44	1.25	1.39	0.71	17.85	9.16							
15年目	H 42	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.4936	93.8	10.50	2.39	1.03	13.91	6.87	1.84	0.34	0.24	2.42	1.19	1.38	0.68	17.71	8.74							
16年目	H 43	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.4746	93.8	10.40	2.37	1.03	13.80	6.55	1.83	0.33	0.24	2.40	1.14	1.37	0.65	17.57	8.34							
17年目	H 44	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.4564	93.8	10.31	2.36	1.03	13.69	6.25	1.81	0.33	0.24	2.38	1.09	1.36	0.62	17.43	7.95							
18年目	H 45	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.4388	93.8	10.21	2.34	1.03	13.58	5.96	1.79	0.33	0.24	2.36	1.04	1.35	0.59	17.29	7.59							
19年目	H 46	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.4220	93.8	10.11	2.32	1.03	13.47	5.68	1.78	0.33	0.24	2.35	0.99	1.33	0.56	17.15	7.24							
20年目	H 47	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.4057	93.8	10.01	2.31	1.04	13.36	5.42	1.76	0.33	0.24	2.33	0.94	1.32	0.54	17.01	6.90							
21年目	H 48	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.3901	93.8	9.92	2.29	1.04	13.25	5.17	1.74	0.32	0.24	2.31	0.90	1.31	0.51	16.87	6.58							
22年目	H 49	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.3751	93.8	9.82	2.28	1.04	13.14	4.93	1.72	0.32	0.24	2.29	0.86	1.30	0.49	16.73	6.27							
23年目	H 50	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.3607	93.8	9.72	2.26	1.04	13.03	4.70	1.71	0.32	0.24	2.27	0.82	1.29	0.47	16.59	5.98							
24年目	H 51	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.3468	93.8	9.63	2.24	1.04	12.92	4.48	1.69	0.32	0.25	2.25	0.78	1.28	0.44	16.45	5.70							
25年目	H 52	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.3335	93.8	9.53	2.23	1.05	12.80	4.27	1.67	0.31	0.25	2.23	0.74	1.27	0.42	16.31	5.44							
26年目	H 53	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3207	93.8	9.43	2.21	1.05	12.69	4.07	1.66	0.31	0.25	2.21	0.71	1.26	0.40	16.17	5.18							
27年目	H 54	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.3083	93.8	9.34	2.20	1.05	12.58	3.88	1.64	0.31	0.25	2.20	0.68	1.25	0.38	16.03	4.94							
28年目	H 55	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.2965	93.8	9.24	2.18	1.05	12.47	3.70	1.62	0.31	0.25	2.18	0.65	1.24	0.37	15.89	4.71							
29年目	H 56	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.2851	93.8	9.14	2.16	1.05	12.36	3.52	1.61	0.31	0.25	2.16	0.62	1.23	0.35	15.75	4.49							
30年目	H 57	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.2741	93.8	9.05	2.15	1.06	12.25	3.36	1.59	0.30	0.25	2.14	0.59	1.21	0.33	15.60	4.28							
31年目	H 58	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.2636	93.8	8.95	2.13	1.06	12.14	3.20	1.57	0.30	0.25	2.12	0.56	1.20	0.32	15.46	4.08							
32年目	H 59	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.2534	93.8	8.85	2.12	1.06	12.03	3.05	1.55	0.30	0.25	2.10	0.53	1.19	0.30	15.32	3.88							
33年目	H 60	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2437	93.8	8.76	2.10	1.06	11.92	2.90	1.54	0.30	0.25	2.08	0.51	1.18	0.29	15.18	3.70							
34年目	H 61	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2343	93.8	8.66	2.09	1.06	11.81	2.77	1.52	0.29	0.25	2.06	0.48	1.17	0.27	15.04	3.52							
35年目	H 62	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2253	93.8	8.56	2.07	1.07	11.70	2.64	1.50	0.29	0.25	2.05	0.46	1.16	0.26	14.90	3.36							
36年目	H 63	0.98870	0.99233	1.00193	0.99056	0.2166	93.8	8.47	2.05	1.07	11.59	2.51	1.49	0.29	0.25	2.03	0.44	1.15	0.25	14.76	3.20							
37年目	H 64	0.98859	0.99228	1.00193	0.99048	0.2083	93.8	8.37	2.04	1.07	11.48	2.39	1.47	0.29	0.25	2.01	0.42	1.14	0.24	14.62	3.05							
38年目	H 65	0.98848	0.99223	1.00193	0.99040	0.2003	93.8	8.27	2.02	1.07	11.37	2.28	1.45	0.28	0.25	1.99	0.40	1.13	0.23	14.48	2.90							
39年目	H 66	0.98837	0.99218	1.00193	0.99032	0.1926	93.8	8.18	2.01	1.07	11.26	2.17	1.44	0.28	0.25	1.97	0.38	1.12	0.21	14.34	2.76							
40年目	H 67	0.98826	0.99213	1.00193	0.99024	0.1852	93.8	8.08	1.99	1.08	11.15	2.06	1.42	0.28	0.25	1.95	0.36	1.11	0.20	14.20	2.63							
41年目	H 68	0.98815	0.99208	1.00193	0.99016	0.1780	93.8	7.98	1.97	1.08	11.04	1.96	1.40	0.28	0.25	1.93	0.34	1.09	0.19	14.07	2.50							
42年目	H 69	0.98804	0.99203	1.00193	0.99008	0.1712	93.8	7.89	1.96	1.08	10.93	1.87	1.38	0.28	0.25	1.91	0.33	1.08	0.19	13.93	2.38							
43年目	H 70	0.98793	0.99198	1.00193	0.99000	0.1646	93.8	7.79	1.94	1.08	10.82	1.78	1.37	0.27	0.25	1.90	0.31	1.07	0.18	13.79	2.27							
44年目	H 71	0.98782	0.99193	1.00193	0.98992	0.1583	93.8	7.70	1.93	1.08	10.71	1.69	1.35	0.27	0.25	1.88	0.30	1.06	0.17	13.65	2.16							
45年目	H 72	0.98771	0.99188	1.00193	0.98984	0.1522	93.8	7.60	1.91	1.09	10.60	1.61	1.33	0.27	0.26	1.86	0.28	1.05	0.16	13.51	2.06							
46年目	H 73	0.98760	0.99183	1.00193	0.98976	0.1463	93.8	7.51	1.90	1.09	10.50	1.54	1.32	0.27	0.26	1.84												

路線名	箇所名	車線数	延長
七尾バイパス	石川県七尾市川原町～石川県七尾市下町	4	4.3km

■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					7,532	
	改良費				5,025	
		土工	m3	480,122	1,076	切土(139,515m3)、盛土(234,792m3)、捨土(84,656m3)
		軟弱地盤改良工	m3	112,950	1,883	
		法面工	m²	10,155	11	盛土法面
		擁壁工	m	22	3	L型擁壁
		函渠工	式	1	1,083	
		排水工	m	16,514	634	
		中央分離帯工	式	1	86	
		雑工	式	1	249	機能補償道路(L=1128m)、付帯工、区画線工、構造物撤去工
	舗装費				1,030	
		車道舗装	m²	120,882	906	
		歩道舗装	m²	36,729	125	
	付帯施設費				919	
		交通管理施設工	式	1	33	防護柵工
		電線共同溝	m	1,360	816	
		標識工	m	4,300	34	
		照明工	箇所	12	36	交差点数 現道部8箇所、BP部4箇所
	仮設費				558	
		仮設工	式	1	558	現道切り廻し、工事用道路等
②用地及補償費					13,050	
	用地費	m²	193,053	6,046		
		宅地	m²	44,020	4,105	
		田畑	m²	149,033	1,941	
	補償費	戸	150	7,004		
③間接経費		式	1	3,417	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				24,000		

路線名	箇所名	車線数	延長
七尾バイパス	石川県七尾市川原町～石川県七尾市下町	4	4.3km

■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					6,623	
	改良費				4,245	
		土工	m3	424,139	932	切土(129,800m3)、盛土(198,719m3)、捨土(74,882m3)
		軟弱地盤改良工	m3	83,350	1,390	
		法面工	m²	10,155	11	盛土法面
		擁壁工	m	22	3	L型擁壁
		函渠工	式	1	941	
		排水工	m	16,514	634	
		中央分離帯工	式	1	86	
		雑工	式	1	249	機能補償道路(L=1128m)、付帯工、区画線工、構造物撤去工
	舗装費				982	
		車道舗装	m²	111,102	857	
		歩道舗装	m²	36,729	125	
	付帯施設費				919	
		交通管理施設工	式	1	33	防護柵工
		電線共同溝	m	1,360	816	
		標識工	m	4,300	34	
		照明工	箇所	12	36	交差点数 現道部8箇所、BP部4箇所
	仮設費				477	
		仮設工	式	1	477	現道切り廻し、工事用道路等
②用地及補償費					8,300	
	用地費	m²	38,925	3,630		
		宅地	m²	38,925	3,630	
		田畑	m²	0	0	
		補償費	戸	95	4,670	
③間接経費		式	1	2,477	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				17,400		

路線名	箇所名	車線数	延長
159	七尾バイパス	4	4.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	4.3	40	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	151	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			191	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。